

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月04日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	新垣 清涼(おきなわ)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 経済政策について

- (1) 県経済における基地関連収入の割合とその推移を伺う。
- (2) 県経済における観光関連収入の割合とその推移を伺う。
- (3) 沖縄県アジア経済戦略構想について
 - ア 具体的な戦略について伺う。
 - イ 成長産業の可能性と支援策について伺う。
 - ウ 今後の課題と取り組みを伺う。

2 人口行政・少子高齢化対策について

- (1) 県人口の今後の予想推移と対策について
 - ア 全国や他府県の現状と沖縄県の比較、今後の取り組みを伺う。
- (2) 健康長寿県一番を目指す取り組みについて
 - ア 平均寿命の現状とその原因について伺う。
 - イ 現在の取り組みと今後の課題を伺う。
- (3) 子ども・子育て支援策について伺う。
 - ア 待機児童解消策と課題について伺う。
 - イ 保育士確保と処遇改善の取り組みを伺う。

3 世界のウチナーンチュ大会について

- (1) 目的達成のための取り組みと成果について伺う。
- (2) ウチナーネットワークは世界何カ国・地域でつながり、どのような活動がなされているか伺う。

4 しまくとらばの普及促進について

- (1) その取り組みと課題について伺う。

5 基地問題について

- (1) 辺野古新基地建設問題について
 - ア 名護市辺野古の新基地建設をめぐる違法確認訴訟で、9月16日の福岡高裁那覇支部の判決に対する知事の見解と今後の決意を伺う。
 - イ 全国知事会に「沖縄の基地負担を軽減する研究会」が設置された。その経緯と活動等内容を伺う。
- (2) 東村高江でのヘリパッド(オスプレイパッド)建設について
 - ア 高江集落のオスプレイ被害について伺う。
 - イ 9月21日の新聞報道にある東村高江周辺の大規模伐採について伺う。
 - ウ 現場調査結果と今後の対策を伺う。
- (3) 高江ヘリパッド建設周辺での警察の取り組みについて
 - ア 県道70号線での検問や封鎖について伺う。
 - イ 警察車両による民間作業員の搬送について伺う。
 - ウ 逮捕者は何人で理由は何か伺う。

- エ けが人は何人でどのような状態か伺う。
- オ 他府県から警察官が派遣された経緯と内容を伺う。
- カ 派遣費用の内訳と県負担について伺う。
- (4) 宜野湾市の基地問題について
 - ア 普天間基地の5年以内運用停止に向けた取り組みについて伺う。
 - イ オスプレイ配備後の爆音被害の実態について伺う。
 - ウ キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区の汚染物質除去作業の進捗状況を伺う。
- 6 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月04日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	玉城 武光(日本共産党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 米軍基地について

- (1) 米軍ホテル・ホテル訓練区域での戦闘攻撃機AVハリアーの墜落事故についての見解を伺う。
- (2) 米軍の訓練制限水域の撤廃について伺う。
- (3) 伊江島補助飛行場での戦闘攻撃機AVハリアーの離着陸訓練による騒音、粉じん被害について伺う。

2 農林水産業の振興について

- (1) 沖縄県農業生産・経営対策事業について
 - ア 事業の概要を伺う。
 - イ 事業の実施状況を伺う。
 - ウ 新規就農者の育成・確保対策について伺う。
- (2) 水産業について
 - ア 1997年の日中漁業協定で決められた「暫定措置水域」について伺う。
 - イ 日台漁業協定について伺う。
 - ウ 新規漁業就業者の推移を伺う。
- (3) 畜産業について
 - ア 生乳生産が減少している要因と増産対策を伺う。
 - イ 畜産クラスター事業の概要を伺う。
 - ウ 全国和牛能力共進会に向けての「出品対策会議」について伺う。
- (4) 県の基幹作物であるサトウキビ振興策について
 - ア サトウキビの振興計画について伺う。
 - イ 生産費引き上げについて伺う。
- (5) 花卉の病害虫防除について
 - ア ストレリチアの根腐れ原因である病原菌の防除対策について伺う。

3 公契約条例について

- (1) 「最低賃金10月上げ打撃、庁舎清掃の受注企業が半年分負担」との報道がある。庁舎清掃の受注企業が半年分負担することになるが、県はどのように対応するのか見解を伺う。
- (2) 公契約条例制定についての見解を伺う。

4 子育て支援について

- (1) こども医療費助成の「現物給付」について
 - ア こども医療費助成の「現物給付」について、南風原町が「子供の医療費を医療機関の窓口で立てかえ払いせずに済む『現物給付』を来年1月にも実施する」方向で、県と調整していると報道されているが、どのようなことを調整されたのか、県の見解を伺う。
 - イ また、市町村が「現物給付」を実施するには、県のこども医療費助成事業補助金交付要綱を改正する必要があると思いますが、その補助金交付要綱の改正時期について伺う。
- (2) 南部の市町村で公立保育所民営化が問題になっている中で、法人保育園の関係者から

公立保育所の存続を求める声も出ている。公立保育所の存続に関する県の見解を伺う。

5 県道の改良整備について

- (1) 県道137号線(通称・新里ビラ)の改良整備計画を伺う。
- (2) 県道77号線・糸満与那原線の八重瀬町字志多伯の交差点(2カ所)の改良整備計画を伺う。
- (3) 県道東風平豊見城線の整備計画の進捗状況を伺う。

6 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月04日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	瀬長 美佐雄(日本共産党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 子供の貧困対策事業について</p> <p>(1) 27年度待機児童解消支援基金事業の実績と課題を伺う。</p> <p>(2) 沖縄県独自の予算に対する市町村の申請状況と予算規模、事業内容、執行率見込みを伺う。</p> <p>(3) 国の子供貧困対策事業予算の市町村での事業化の執行状況を伺う。</p> <p>(4) 就学援助金制度の活用促進、申請事務の改善、対象費目拡充等市町村への指導援助を求めたが取り組み状況を伺う。</p> <p>2 待機児童解消について</p> <p>(1) 隠れ待機児童数が公表されたが、沖縄県の実態を伺う。</p> <p>(2) 各市町村の現時点における保育所入所待機児童数及び入所待ち児童数、解消に向けた見通しと県の支援策を伺う。</p> <p>(3) 保育士確保に係る県の支援、昨年度比での保育士増員状況を伺う。</p> <p>(4) 今年度の認可外保育園の保育児童数、過去5年間の推移、支援の状況を伺う。</p> <p>3 第6回世界のウチナーンチュ大会について</p> <p>(1) 大会準備の進捗状況及び海外からの参加状況を伺う。</p> <p>(2) 世界若者ウチナーンチュ大会の取り組みを伺う。</p> <p>(3) 大会を機に文化、芸能交流及び経済発展につなげる取り組みが期待される。計画を伺う。</p> <p>(4) 世界から参加する同胞に対し、沖縄の歴史と米軍基地問題など、今日的課題を共有する情報提供を行うことは意義があると思うが見解を伺う。</p> <p>(5) 海外移民の歴史を県民に周知することが歓迎する機運を高めると考えるが取り組みを伺う。教育現場での取り組みもあわせて伺う。</p> <p>4 住宅リフォーム促進事業の成果・経済効果と今後の拡充について</p> <p>5 農業振興について</p> <p>(1) 新規就農者の育成・確保対策事業の計画、実績と効果、課題について</p> <p>(2) 遊休農地解消の計画、実績及び課題について</p> <p>(3) 農業者の年齢区分の推移、70歳以上の農業者数、農業者に占める比率、事業規模及びその比率を伺う。</p> <p>(4) ハウスなどで、熱中症と見られる死亡件数など実態及び対策を伺う。</p> <p>(5) 植物工場の生産技術研究や事業化促進への見解、現状の取り組みと課題、方針を伺う。</p> <p>(6) 学校給食に地元・県産食材の使用促進への見解、県産の比率、市町村の取り組みと県としての支援策を伺う。</p> <p>6 「オール沖縄」で目指す「教科書検定意見撤回」に関する国の動向、撤回への状況と見解。</p> <p>7 米軍基地問題について</p> <p>(1) 公安委員会の業務について</p> <p>ア 他都府県警察へ派遣要請の経緯、内容、警察業務への責務と今後の課題を伺う。</p> <p>イ 高江での警察の過剰警備による市民の負傷の状況と見解を伺う。</p>			

ウ 県道の封鎖、市民の拘束という弾圧行為の法的根拠を伺う。

エ 派遣機動隊に伴う本県財政負担内容と支出金額の内訳、執行状況を伺う。

オ オスプレイパッド反対の民意を封殺する警察の実態を現地で調査し、公安委員会の職責に照らし、派遣要請を取り消すべきだが、どうか伺う。

(2) 高江で、赤土流出、樹木伐採などは看過できない。工事中止を求めた理由と状況を伺う。

(3) 国立公園指定、世界自然遺産登録を目指しながら自然環境破壊は矛盾する。知事の見解を伺う。

(4) オスプレイパッド基地建設に対し、知事は反対を明確にすべきと思うがどうか。

(5) 伊江島飛行場での基地増強に対する見解を伺う。

(6) 日米地位協定第13条関係・改定要請項目(課税)米軍人等の自動車税に関する課税強化の取り組み状況、その他に米軍関係での税制上の改善事項と内容・効果について伺う。

(7) 多発する米兵・軍属の犯罪についてことしの状況と、国の再発防止策の計画と実践状況について、その効果に関する見解を伺う。

(8) 米軍機墜落事故が繰り返されている。飛行禁止を求めるなど実効ある対策に関する見解を伺う。

8 我が党の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月04日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	仲村 未央(社民・社大・結連合)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 辺野古違法確認訴訟判決について知事の受けとめ、争点及び上告の必要について、以下、考えを伺います。</p> <p>(1) 多見谷寿郎裁判長は「40都道府県全ての知事が埋立承認を拒否した場合、(中略)地方公共団体の判断が国の判断に優越することにもなりかねない」と、「地域特有の利害ではない米軍基地」の必要性については国の判断を尊重するよう求めているが、埋立権の設定が法定受託事務である限り本来どの都道府県知事にも埋立承認を拒否する権限があると解されるべきではないか。岩国基地埋立承認取消訴訟・広島高裁判決は、国家行政性善説、国家所有万能説を唱えた被告(国)に対し、「都道府県知事の承認がない限り、埋立事業の実施主体である国が公有水面の埋立権を取得する余地はない」(H25.11.13)と断じ、国の主張を退けた。このような判例も踏まえ、今般の判決は地方自治の観点から大いに争点になると考える。知事の所見を示されたい。</p> <p>(2) 環境保全措置等の審査に関し、多見谷裁判長は「不確実性に対応するには、承認後に引き続き事後調査や環境監視調査を行い、その場その時の状況に応じて専門家の助言・指導に基づいて柔軟に対策を講じることはむしろ合理的である」としている。ジュゴンやウミガメが死滅しても「その場その時の状況に応じて」「柔軟に対策を講じる」ことに合理性があるか。日米両政府の環境政策との整合性、また国際社会の要請はどうか。</p> <p>(3) 多見谷裁判長は、「在沖縄全海兵隊を県外に移転することができないという国の判断は戦後70年の経過や現在の世界、地域情勢から合理性があり尊重すべき」とし、他方で「仮に将来海兵隊全体が沖縄に駐留する必要がなくなるとすれば、そのときは、本件新施設等もキャンプ・シュワブも必要がなくなり、返還されることになるはずである」とした。県民に苦悩を強いた「戦後70年の経過」を追認し、将来にわたる在沖海兵隊の固定化にまでお墨つきを与えるような裁判長の指摘だが、知事はこれをどう受けとめられたか。在沖海兵隊全体として切り離せないとの主張にどう臨まれるか伺う。</p> <p>2 外来機による訓練の常態化、それに伴う騒音の増大と健康被害、離着陸機の事故、比謝川汚染や改修工事への支障など、嘉手納基地から派生する問題は深刻さを増している。住民生活が脅かされている現状を具体的に把握してほしい。対応を求める。</p> <p>3 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月04日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	次呂久 成崇(社民・社大・結連合)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

(1) 辺野古埋め立て違法確認訴訟について

- ア 今回の判決を受け、最高裁判決でも同様の判断が示され県敗訴が確定した場合、政府は辺野古移設に全面的に協力することを求めてくると思われるが知事の見解を伺う。
- イ 判決で「普天間飛行場の被害を除去するためには埋め立てを行うしかなく、県全体としては基地負担が軽減される」と裁判中から指摘されているが、知事の見解を伺う。
- ウ 去る9月16日の石垣市議会最終本会議で「石垣島への自衛隊配備を求める決議」が賛成多数で可決されたが「議論は不十分で熟しておらず、防衛省の2回の説明も不十分である。そのような中で市議会が判断するのはあり得ない。」という市民の声も多い。違法確認訴訟において国と地方自治体の役割について「国防と外交は国が本来行うべき任務で国の判断に不合理な点がない限り、尊重されるべき」と言及したことから石垣島への自衛隊配備も「国防と国の安全保障に関すること」とし防衛省が積極的に自衛隊配備を進めてくることが懸念されるが知事の見解を伺う。

2 離島振興について

(1) 第一航空による石垣―波照間・多良間の航空路線就航の進捗状況と今後の見通しについて

(2) 離島航路運航安定化支援事業について

- ア 事業の内容及び事業実績について
- イ 波照間航路の新造船建設について、これまでの船舶建造検討委員会及び航路分科会等の進捗状況について
- ウ 事業期間が平成33年度までとなっているが、国や竹富町、事業者との連携体制及び今後の取り組みについて

(3) 県立高等学校の寄宿舎建設について

- ア 進捗状況と今後の課題及び取り組みについて
- イ 寄宿舎の管理体制等について

(4) 日台漁業協定に伴う沖縄漁業基金について

- ア 日台漁業取り決めの発行から2年がたつが、八重山北方海域に設定された日台共同利用の三角水域に対する漁業者の不満はますます強まっている。県のこれまでの取り組みについて伺う。
- イ 外国漁船により影響を受けている沖縄県の漁業者の経営安定・被害救済のための対策を目的として創設された「沖縄漁業基金」のこれまでの基金の活用状況と効果について
- ウ 漁業者にどのような被害や影響があるのか実態を把握し、基金事業メニューの見直しや活用方法等を検討する必要があると思うが今後の取り組みについて伺う。

(5) 八重山地方を襲った台風16号について

- ア 被害状況及び農作物等の被害総額等について
- イ 被害の大きかった与那国島のライフラインの復旧及び生活支援等の県の対応について

3 子ども・子育て支援について

(1) 待機児童解消の取り組みについて

- ア 今年4月1日時点の県内の待機児童数が2539人で東京都に続いて全国2番目、全国の

上位100市町村の中に県内11市町村が入っており、2017年度末までに待機児童ゼロという目標達成は厳しい状況となっている。今後の取り組みについて

- イ 昨年度から年2回の保育士試験を実施しているが、受験者及び合格者は増加したのか、また合格者が実際に保育士として就労した人数について
- ウ 待機児童解消に不可欠な保育士確保に向けた離島での保育士試験実施に向けた取り組みの進捗状況について
- エ 一括交付金を活用した待機児童対策事業により、県内の各市町村でも認可外保育園の認可化に取り組んでいる同事業の実績と今後の見込みについて
- オ 施設整備費補助は県内一律でないため地域の建設業状況(入札や資材単価等)を把握し離島割増しなどの対応が必要かと思われる。各地域の建設業界等の状況について実態調査し、検討が必要と思うが今後の取り組みについて伺う。

4 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月04日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	山内 末子(おきなわ)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

(1) 辺野古違憲訴訟判決について

裁判について、コピー裁判とやゆされるほど、国代弁の判決が出た。そのような結果になった要因はどこにあると考えるか。

(2) 基地問題は人権問題だという知事の主張を、今後も訴え続けることが重要だと考えるが知事の姿勢に変わりはないか。

(3) 辺野古埋め立て土砂の採石予定地で、採石反対の動きが活発になっている。現状、地域との連携の取り組みについて伺う。

(4) 高江ヘリパッド(オスプレイパッド)建設について

ア N4地区ではオスプレイが先行運用されているが、希少種の移植の状況や希少動植物、周辺環境調査の実態と対策を伺う。

イ 工事が強行に進められている残りの地区の希少種、希少動植物保護対策はどのように行われているか。

(5) 国連人権理事会で国際人権NGOが、米軍基地建設工事や抗議市民に対する日本政府の対応に対して「表現の自由を尊重するよう訴える」という声明を出した。国際世論に訴える場面がふえ沖縄への注目が高まり出していることについて、知事の見解を伺う。

(6) 10月30日「世界のウチナーンチュの日」宣言において、世界に向け知事は何を主張していくのか。

2 県職員の勤務実態について

(1) 職員の病休者及び精神疾患者の人数と割合について

(2) 長時間勤務者数の実態と対策について

3 環境・エネルギー政策について

(1) 一般廃棄物のリサイクル向上について

ア 県内一般廃棄物のリサイクル率の実態と目標値について

イ 廃食油を活用したバイオマス発電が国内3例目として注目を浴びており、家庭用廃食油の分別回収の気運が高まっている。リサイクル率向上の観点での県の取り組み状況と支援策を伺う。

ウ 家庭食物残渣の分別回収に対する市町村の実態と県の姿勢、市町村への支援策を伺う。

(2) 電力自由化の推進について

4月からの電力自由化で、全国でのスイッチング件数は全国で168万件もあるが、県内はまだゼロの状況である。島嶼県という課題があるが、克服する積極的な姿勢が重要である。電力自由化推進について県はどう捉えているか伺う。

4 産業振興について

(1) 伝統工芸品産業振興について

ア 伝統工芸品の国指定、県指定製品の状況を伺う。

イ 国指定に向けての伝統工芸品の現状と県としての今後の方向性を伺う。

5 不発弾処理対策について

(1) 過去3年間の事業執行率の推移と執行率向上に向けての取り組み状況を伺う。

- (2) 安全対策に対する県の認識を伺う。
- 6 教育行政について
- (1) 県公立学校教員候補者選考試験について
臨任等の経験を有する者を対象にした一部試験免除・加点について、女性教職員の出産等による配慮事項が適用されないという不平等さが問題になっている。改善が急がれるが県の対応を伺う。
 - (2) 子供の貧困対策解決に向けて各機関の連携強化が求められている中、学校との連携は特に重要である。教師の認識向上など取り組み姿勢について伺う。
 - (3) キャンプ・シュワブ内埋蔵文化財発掘調査について
- 7 警察・公安委員会関係について
- 昨年「警察法」が一部改正され、国家公安委員会の役割に「内閣・内閣官房を助ける」という新たな文言が付け加えられた。本来、政治的に中立な立場であるその役割に「時の政権を助ける」という役割が追加された。
- 今、高江で行われている警察活動はまさしくその役割が優先されているのではないか。住民を守る活動との乖離を指摘せざるを得ない。本部長、公安委員長の見解を伺う。
- 8 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月04日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	崎山 嗣幸(社民・社大・結連合)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 米軍北部訓練場ヘリパッド基地建設について

- (1) 沖縄防衛局は、27年2月米軍に着陸帯(N4地区2カ所)を先行提供し、墜落欠陥機MV 22オスプレイが、我が物顔で高江周辺を飛び交っている。住民は墜落の不安、騒音、低周波を浴びせられ精神的にも肉体的にも追い詰められている。この実態は、2012年に海兵隊の環境審査書にオスプレイの使用が明記され、21カ所中18カ所がオスプレイの着陸帯にされようとしている。県の認識と対応を伺う。
- (2) 県は、沖縄防衛局に赤土防止条例の適用対象になる工事かどうか立入調査を求めているが、そのてんまつを伺う。
- (3) 防衛省は作業用トラックなど、陸上自衛隊のCH47輸送ヘリを活用した。米軍施設建設に自衛隊を使用することは、違法ではないか。県の見解を伺う。
- (4) 県公安委員会の要請で県外から、警察、機動隊、約500人から800人が派遣されてきている。平穏な生活を願う県民に対して、強制排除や弾圧を繰り返し、ダンプや作業員は警察車両が誘導し、公平・中立とは思えない事態が起こっている。県公安委員会はみずからの役割と任務を喪失してはいないか伺う。

2 アジア経済戦略構想について

県は、同構想の重点戦略のうち、重要性や緊急性の高い物流、観光、ITの3分野で対策を調査検討する専門部会を立ち上げている。これを踏まえて以下2点について伺う。

- (1) 物流について、確かに空港貨物の取扱量は大幅な増加を示しているが、物流の取扱量は那覇港が96%を占めており、空路の取扱量がわずかである。その那覇港からの物流も半分以上が片荷運送であり、その解決策を図ることが最も緊急重要ではないか、その対策を伺う。
- (2) 観光面では、クルーズ船の寄港も年200回を超える勢いで順調である。将来世界最大の22万トン級のクルーズ船の入港を見込んでインフラ整備も進められている。同時に、対応する観光バスが、観光客の乗りおりに県民広場前を活用しており、問題となっている。早急に駐車場確保の解決策をとるべきではないか伺う。

3 離島振興について

- (1) 離島4空港(多良間、久米島、南大東、北大東)等の旅客施設整備事業の内容をそれぞれ伺う。
- (2) 石垣一多良間の航空路線の目途を伺う。
- (3) 多良間一水納島の定期航路開設は検討しているか伺う。
- (4) 那覇一粟国の航空便再開の目途を伺う。
- (5) 離島観光の交流促進事業(島あっちゃー)の事業目的、内容等を伺う。

4 サトウキビの増産について

沖縄農業の基幹作物であるサトウキビは甘味資源作物として欠くことのできない重要作物である。現状は、都市化や就農者の減少、高齢化による担い手不足、台風災害など厳しい環境でもある。その中でも、27年度は、生産量も全体的に75万5365トンと前年比9.6%上回った。県の今後の対応策を伺う。

5 泊漁港内の放置艇について

放置艇対策は全国的にも課題となっており、沖縄県でも、漁業者の環境悪化等で放置艇は増加傾向と言われている。特に泊漁港内にも、数多くの放置艇があり、景観、保全、火災、台風等で問題となっている。県は5年計画を策定し、その対策に取り組んでいるがその内容を伺う。

6 県営住宅の優先入居について

県営住宅への入居倍率は高く、生活に困窮している子育て世帯が容易に入居できない実態がある。従来の優遇世帯とは別枠を設け、入居の確率を高める方策を講ずべきである。県の対応策を伺う。

7 道路標示板について

観光立県沖縄を目指す上で道路の案内や地域の目印となる案内板は重要である。しかし、その標示板が誤ったり、紛らわしい標示などは逆効果である。国道329号沿いの国場地域に古波蔵大通りの道路標示板が建っている。県によると27年前に選定した道路愛称を根拠にしたとのことである。しかも、歴史的由来に踏まえたとしても戦前まで軽便鉄道が集落の前を走り、与那原線と糸満線は、全て国場を通過して那覇に入る交通の要所であったことや国場の地名は往昔から国場川とともに脈々と歴史を刻んできている。「国場大通り」と名称すべきである。県は既に27年もたっており、名称見直しを検討したらどうか伺う。

8 我が会派の代表質問との関連について

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月04日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	赤嶺 昇(おきなわ)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 普天間飛行場の辺野古移設阻止に向けた取り組みを伺う。</p> <p>(2) アジア経済戦略構想の進捗状況と展望を伺う。</p> <p>(3) 県内企業・下請企業優先発注、県産品優先活用について伺う。</p> <p>(4) 沖縄本島と離島のガソリン価格差解消に向けた取り組みを伺う。</p> <p>2 教育行政について</p> <p>(1) 高校教育における琉球史の必修化について伺う。</p> <p>3 福祉行政について</p> <p>(1) 待機児童解消の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 認可外保育施設の課題と対策を伺う。</p> <p>(3) 学童保育の課題と対策を伺う。</p> <p>4 文化・観光・スポーツ行政について</p> <p>(1) 文化振興会の実績と課題を伺う。</p> <p>(2) 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みを伺う。</p> <p>5 土木建築行政について</p> <p>(1) 県発注工事の不調・不落の実態を伺う。</p> <p>(2) より多くの企業が受注できる取り組みを伺う。</p> <p>(3) 総合評価の見直しについて伺う。</p> <p>6 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月04日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
9	17分	亀濱 玲子(社民・社大・結連合)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

- 1 知事の政治姿勢について
県内の新基地建設について「先島への自衛隊配備」について伺う。
 - (1) 県立公園予定地とされてきた「上野千代田地区」への自衛隊配備の方針を防衛省が示したことについて、知事の見解を伺う。
- 2 農業行政について
 - (1) サトウキビの振興策、新品種への取り組みとTPP問題の対応について伺う。
 - (2) 新規農業者に対する県の施策と課題について伺う。とりわけ、離島の農家育成に向けた新たな開発への支援、小規模農家への支援、製品加工に取り組む農家への支援について、課題を含め伺う。
- 3 医療福祉行政について伺う。
 - (1) 子宮頸がんワクチン副反応被害の実態について
 - ア 子宮頸がんワクチン副反応被害者への支援について、県独自の支援策が必要と考える。対応について伺う。
 - イ 沖縄県の子宮頸がんワクチン接種の実施状況と副反応被害の訴えの状況について伺う。
 - ウ 厚生労働省等への県内からの被害報告の状況と課題について伺う。
 - エ 県と各市町村との連携した対応について
各自治体によって、取り組みに差があると考えられる。(接種問診票の保管・相談窓口の設置・被害報告への対応等)県下の市町村の状況について、どのように把握しているか。連携して取り組むことが必要。対応を伺う。
 - (2) 離島・僻地の医療の充実に向けて
 - ア 島嶼県沖縄において、県内離島からの妊産婦・がんや難病患者が、出産や治療のために家族で利用できる安価で宿泊できる「ファミリーハウス」(仮称)の設置が必要であると考える。
 - イ 離島・僻地の救急医療の現状と課題について伺う。離島・僻地の急患搬送体制(ドクターヘリ)や「無医地区」「準無医地区」への巡回ヘリ等による医療体制の強化・充実に向けた施策の検討について伺う。
 - ウ 県立病院の医師を含めた職員不足の現状と課題、対応について伺う。
 - エ 県立宮古病院の「血液内科」の強化について伺う。
- 4 福祉行政について
 - (1) 中央児童相談所宮古分室の早期設置について伺う。
宮古圏域においては、児童相談の増加に対応し、平成24年度に、児童相談所の補完的役割を担う「児童家庭支援センターはりみず」が設置された。地域での相談支援が進んだ一方、昨年、児童虐待死亡事件が発生した。早急な体制の強化が必要と考える。設置に向けた現状と課題、設置目標について伺う。
 - ア 外部専門家の検証による提言について
 - イ 宮古圏域の現状に関する県の認識について
 - ウ センターとの役割分担と必要な職員体制について
 - エ 設置するめどについて
 - (2) 「沖縄県手話言語条例」が制定された。県の窓口やさまざまな場面での当事者の通訳

ニーズに対応するきめ細かな施策が取り組まれることが求められる。県独自の取り組みについて伺う。加えて、県下市町村と連携し、充実に向けた具体的な取り組みが望まれる。お考えを伺う。

5 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月04日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
10	17分	親川 敬(おきなわ)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 辺野古裁判で問われるべき問題点について</p> <p>ア 民主主義と地方自治に対する翁長知事のを考え方を伺う。</p> <p>2 沖縄振興一括交付金について</p> <p>(1) 県、市町村の予算枠配分の方法を伺う。</p> <p>(2) 県、市町村の内示について</p> <p>ア 内示までの手続を伺う。</p> <p>イ 内示の時期と金額(27年度を例に)を伺う。</p> <p>(3) 県、市、町村ごとの平成25年以降の執行率を伺う。</p> <p>(4) 執行率向上に向けた取り組みを伺う。</p> <p>3 ひと・まち・しごと創生総合戦略について</p> <p>(1) 移住定住の促進対策について</p> <p>ア これまでの成果と今後の取り組みを伺う。</p> <p>(2) 農業振興による移住定住対策について</p> <p>ア 県農業施設で研修を通じた移住定住策を伺う。</p> <p>4 多様な交通手段の確保について</p> <p>(1) 沖縄県における自転車施策位置づけを伺う。</p> <p>(2) 沖縄21世紀ビジョン前期実施計画における成果を伺う。</p> <p>(3) 県内市町村における自転車施策把握の状況を伺う。</p> <p>(4) 今後策定される後期実施計画の主要な課題を伺う。</p> <p>5 国際自然保護連合・グローバルサミットについて</p> <p>(1) 参加をされ、どのようなことを訴えたか伺う。</p> <p>(2) 沖縄、濟州島、ハワイの3知事が合意した内容を伺う。</p> <p>(3) 21世紀ビジョン実現のためにも国際自然保護連合と今後積極的にかかわりを持つべきと思うが見解を伺う。</p> <p>6 我が会派の代表質問との関連について</p>			